

Lady Go!! 第7号 2017

..*「理学療法士必見！患者さんに対する接遇講習会」に参加して*.*.*

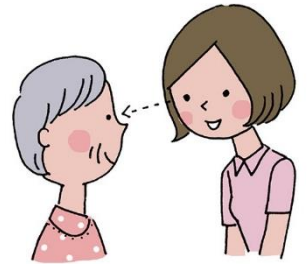
私たちは常に様々な患者さんと接していますが、その中でコミュニケーションについてゆっくり考える機会がなかったので、今回の講習会に参加して様々なことを再確認できました。

物事を伝えるときは「ことばで伝える」という印象が強いですが、ことばで伝わるのは意味だけで、それ以上に表情、声、身振り手振りが大切なツールであり、そこからお互いの感情が通じ合い、よりスムーズなコミュニケーションへとつながっていくことを学びました。

また、ロールプレイング研修では、実際の治療場面を想定して具体的に患者さんとの接し方を他の参加者と話し合うことが出来ました。毎日の臨床の中ですぐに使えるヒントがたくさんあったので、様々な場面で活用できるようにしていきたいと思いました。

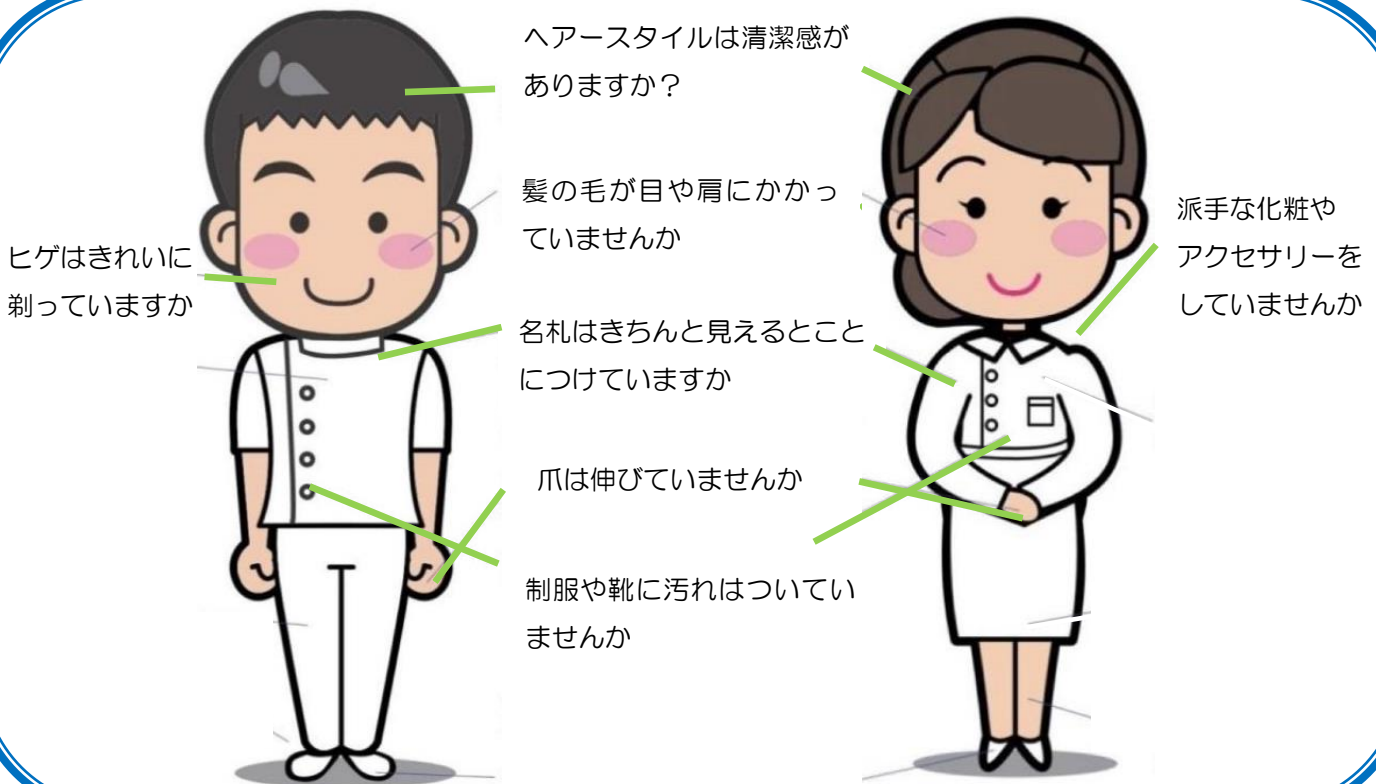
私自身、普段の業務の中で忙しいときは、相手のペースに合わせることをつい忘れてしまうことがあります。しかし、どんなに忙しいときも相手の立場に立って物事を見る、考える、心をこめて行動することを心がけていきたいと実感しました。

(ワークライフバランス検討委員会 部員 齊藤 有里)



..*～あなたの身だしなみは大丈夫？～*.*.*

医療接遇で欠かせないマナーのひとつに「身だしなみ」があります。患者さんに不快な思いをさせないためにも清潔感のある身だしなみを心がける必要があります。以下を参考にしてあなたもチェックしてみましょう。



身だしなみ次第で与える印象や患者様からの信頼が変わります